

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	行政不服審査会事務	担当課	総務課
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間 年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別 法定事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働
予算科目コード	01-020101-14 単独	根拠法令・条例等	行政不服審査法（平成26年法律第68号）第81条第1項

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
不服申立てに対する公平性を担保するため、行政不服審査法に基づく第三者機関として設置している。	<ol style="list-style-type: none"> 1 審査庁からの諮問書を受け付けする。 2 審査会の開催日程を調整する。 3 諮問の論点等を整理し、会議資料を作成する。 4 審査会を開催する。 5 審査会の答申案を作成し、委員に了承を得る。 6 答申書を審査庁に送付する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） 審理員の審理結果を審査会に諮問し、答申を得ることにより、公平性を担保し、市民の信頼を得る。	
（参考）基本事業の目指す姿 行政に意見や提案を伝える場や機会が、十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	24	35	35	139	139
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2	2	4	1	1
	一般財源	22	33	31	138	138
正職員人工数（時間数）		48.00	41.00	41.00	41.00	0.00
正職員人件費		197	168	171	0	0
トータルコスト		221	203	206	139	139

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民の提案事業	担当課	秘書課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成 5年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別	任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働	
予算科目コード	01-020101-25 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案、要望、意見等を行政に反映させるため開始した。	市民から行政に対する提案・要望を広く求め、市民のニーズを把握するとともに、市政への参加意識を高める。 提案・要望に対しては、担当課が内容を調査・検討し、市長の決裁を経て回答する。 提案・要望の聴取手段は、広報紙とともに配布する「私の提案」の封書、市の7施設に設置した「投書箱」、市ホームページの「ご意見・ご提案」入力フォームなどによる。 市からの回答は、原則1週間以内に提案者に対して行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対し、市政に対する意見・要望を広く求め把握するとともに、市政への参加を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
毎年10月の広報紙とともに配布する「私の提案」の封書については、投稿される時期が集中するため、原則1週間としている回答期限を超過している状況にある。	●「私の提案」の回答作成依頼 平成31年10月 ・広報もりや10月10日号と合わせて各世帯に私の提案用封書を配布 ・回答書作成におけるシステムの活用等を周知
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
「私の提案」の封書については、今年度に様式を見直し、投稿が集中した場合は回答に時間がかかる旨を記載した。回答作成に当たっては、速やかに対応できるように、各担当課がシステムを活用し、類似する提案への回答を参考にするように掲示板等において周知する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	提案事業に関しては、システム経費と用紙印刷経費以外は案件処理にかかる職員の人件費が大半を占める内容である。処理の円滑化と正確性を確保するためシステム使用料は必要であり、また、広く意見・提案を求めるため、用紙を作成・配布する必要があることから、現状維持とする。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度を取組（評価、課題への対応）
封書を使用した提案・意見において、個人情報に記載させる項目が多いとの意見が複数あり、最小限の内容とする必要がある。	より多くの提案や意見の聴取につなげるため、「私の提案」の封書については、市民が気軽に意見や提案を投稿できるよう記載欄の見直しを行い、メールアドレス欄を削除するなど、様式の見直しを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
提案・意見の件数（件）	662.00	164.00	151.00	220.00	300.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	私の提案として扱う案件と各担当課が直接対応する案件の整理を徹底した。また、昨年10月からホームページの「私の提案」フォームの入口部分に各担当課への問い合わせ窓口とよくある質問のリンク設定を行い、各担当課へ誘導するように修正し、提案と各担当課への問い合わせを分けて投稿させるようにしたため、件数は前年度より減少している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	市民の建設的な意見や提案を市政に反映させるために、今後さらに「私の提案」事業を周知することで、より多くの提案・意見の聴取に取り組む、市民の市政への参加を促進していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	236	193	193	196	196
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	236	193	193	196	196
正職員人工数（時間数）		150.00	47.00	126.00	0.00	0.00
正職員人件費		615	193	526	0	0
トータルコスト		851	386	719	196	196

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	パブリック・コメント制度運用事業		担当課 総務課
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間 年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働 企画立案への参画
予算科目コード	- - 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成17年4月から、開かれた市政運営を実現するため、市の政策を定めるに当たり、市民が計画段階から市政に関与できる場を設ける。	パブリックコメントの手順 ①市で作成した施策等の案を市役所・公民館等の窓口及びホームページにおいて公表する。 ②施策等の案に対する市民からの意見や修正案を募集する。 ③意見等を考慮し、施策等の内容を市で再度検討し、最終決定する。 ④意見等に対して市の考え方や修正内容を公表する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民の声を市の施策に反映させ、公正で民主的な行政運営を行うことで、行政と市民の信頼関係を築く。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が、十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了					

コストの推移						
	項目	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	正職員人工数（時間数）	18.00	43.00	43.00	43.00	0.00
	正職員人件費	74	176	180	0	0
	トータルコスト	74	176	180	0	0

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	審議会等公開制度事務	担当課	総務課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成16年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別	任意の事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働	
予算科目コード	01-020101-04 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の施策や計画等について、その形成過程や内容を知る機会（情報公開）を設けることで、市民の市政への理解を深めてもらう。	会議開催1週間前までに、市のホームページ及び庁舎掲示板に会議開催案内を掲載する。 会議開催後、会議録及び会議資料を市のホームページに掲載する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対して審議会等の会議や会議録等を公開することにより、市政の透明性及び公平性を高め、市民の市政への参画を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
審議会等の運営の透明性を高めるとともに、会議を公開することによって市民の市政に対する理解と信頼を深め、市民が自主的・主体的に市政へ参画できる機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
会議開催日から市ホームページに会議録を掲載するまでに、時間を要している部署が見受けられる。要因としては、録音をした会議の音源を聞きながら入力する作業に時間を要していることが考えられる。	会議の種類や会議録作成時間等を各部署ごとに調査し、担当者を対象に会議録作成システムの利用説明会を実施する。 また、全庁的にシステム利用を促進することを目的に、総合行政情報システム検討委員への説明会も実施する。 年間を通して市ホームページの会議録の掲載状況、作成進捗状況の確認を行っていく。 通年：市ホームページ会議録掲載、作成進捗状況の確認 4月：会議録作成システム入札、契約 5月～：会議録作成システム導入、運用開始 5月：会議録作成事務担当者説明会の実施 会議録システムの利用促進、利用マニュアルの作成 6月：総合行政情報システム検討委員への説明会実施 10月：次年度以降の会議録作成システムの運用検討 11月：平成31年度予算要望
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
会議録の作成については、会議の音源を聞きながら入力する作業に時間を要しているため、全庁的に利用できる会議録作成システムを導入し、作成時間を短縮することにより、会議録公開の迅速化及び効率化を図る。 また、定期的に市ホームページを確認して、会議録の公開が遅れている部署について、進捗状況の確認を行っていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
<p>会議開催日から市ホームページに会議録を掲載するまでに、時間を要している部署が見受けられる。要因としては、録音をした会議の音源を聞きながら入力する作業に時間を要していることが考えられる。</p>	<p>会議録の作成については、会議の音源を聞きながら入力する作業に時間を要していたため、全庁的に利用できる会議録作成システムを導入し、作成時間を短縮することにより、会議録公開の迅速化及び効率化が図れてきている。</p> <p>また、定期的に市ホームページを確認して、会議録の公開が遅れている部署について、進捗状況の確認を行って、迅速な情報公開の推進を職員に周知徹底した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
公開した会議の開催数（回）	81.00	65.00	49.00	65.00	65.00
傍聴者数（人）	97.00	70.00	63.00	70.00	70.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	各審議会の開催数が減少しているため、指標値の傍聴者数も減少の傾向にあるが、会議録システムを導入し、会議録の情報公開について迅速化を図ったことにより、会議運営の透明性を高め、市民の市政に対する理解と信頼を深めることが推進されている。今後も更に成果を向上させていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後も審議会等の運営の透明性を高めるとともに、会議を公開することによって市民の市政に対する理解と信頼を深めていくため。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		78.00	65.00	67.00	60.00	60.00
正職員人件費		320	267	280	0	0
トータルコスト		320	267	280	0	0

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市長との対話事業	担当課	秘書課
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成14年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別	任意の事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働	その他
予算科目コード	- - 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民との対話を通じ、市政やまちづくりに対する市民の生の声や意見、提案を広く聴き、今後の市政運営に活かす。	市長との対話を希望する5名以上の団体・グループと60分程度の意見交換を実施する。 また、平成29年度からはタウンミーティングを開催し、年度ごとに実施地区を検討し、市長をはじめとする市職員が市民と意見交換を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民の声に耳を傾け、市民ニーズを的確に捉えることにより、適正な市政運営の実施につなげる。	
(参考) 基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、市政への参画を促進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
昨年度は、新市長が就任1年目ということもあり、対話の申し込みも多く、また、タウンミーティングを9回開催したため、実施回数が基準値を大きく上回ったが、今年度は11月現在で市長との対話の実施回数が3回であり、事業が活用されていない。	●広報媒体（広報紙、ホームページ、SNS）による周知 ・広報紙 年1・2回程度 ・ホームページ・SNS 随時
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
「市長との対話」事業について、広報紙やホームページ、SNS等の広報媒体を活用し、積極的にPRを行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	人件費以外のコストはかかっていないため、現状維持とする。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の取組（評価、課題への対応）
対話を希望する団体数が少ない状況にあるため、制度の更なる周知に努める。	今年度は、「市長との対話」を3回実施した。回数としては減となったが、今後も制度の周知を行い、目標数値の達成を図る。 なお、予算の項目上、当該事務事業には該当しないが、平成29年度から、市長が市民と直接対話する「タウンミーティング」を開催して、市長が市民の生の声を聞く機会は増加している。今年度は公共施設だけでなく、大型マンションの共用施設でも実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
開催数〔タウンミーティングを含む〕（回）	4.00	15.00	8.00	12.00	18.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	ホームページや広報紙で制度の周知を行っているが、前年度に比べ実際に申し込む団体が少なかったため、実施回数も増えず、成果は低下している。情報が市民に届いていない可能性もあると考えられるため、今後は、周知記事の掲載回数を増やすなどして、成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	目標値の達成を目指し、実施回数が増えるよう制度の周知を継続して行っていく。広聴事業としては、他にも「タウンミーティング」「私の提案」など、「市長との対話」と内容が重なる業務が存在するため、例えば、「市長との対話」はグループに対する広聴事業という位置付けを前面に出し、守谷市全体に関わる問題に限定するなどの条件を付け、他の広聴業務と差別化することで、重複部分の無駄をなくし、事業の効率化を図る。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		7.00	272.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		29	1,115	0	0	0
トータルコスト		29	1,115	0	0	0